

## § 4. 東大弥生門前道路横断歩行者交通量調査

### 4-1. 調査の概要

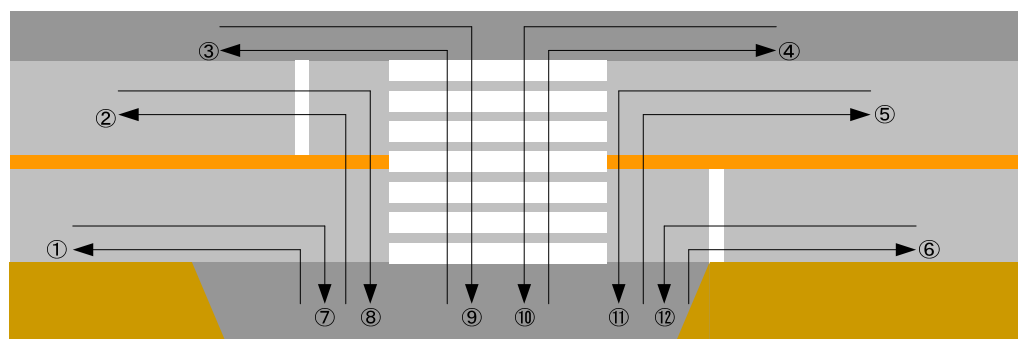
#### (1) 調査実施経緯

整備計画の策定にあたり、④文台3号(暗闇坂)については、基本計画において「一方通行化」を検討することとされたが、一方通行化に関する地域住民意向(本年度実施)では、導入反対の意見が多いため、協議会では一方通行化の検討を見送ることとし、代わりに「東大弥生門前横断歩道への信号機設置」の議論がなされた。

#### (2) 調査実施日及び調査項目

調査実施日：平成26年11月5日(水)7:00~19:00

調査項目：東大弥生門を通過する歩行者・自転車・車イスを10分間隔にて方向別に観測



東大弥生門

- ③④⑨⑩: 横断歩道を利用しての流出入
- ①⑥⑦⑫: 暗闇坂東大側を利用しての流出入
- ②⑤⑧⑪: 暗闇坂を横断しての流出入(横断歩道非利用)



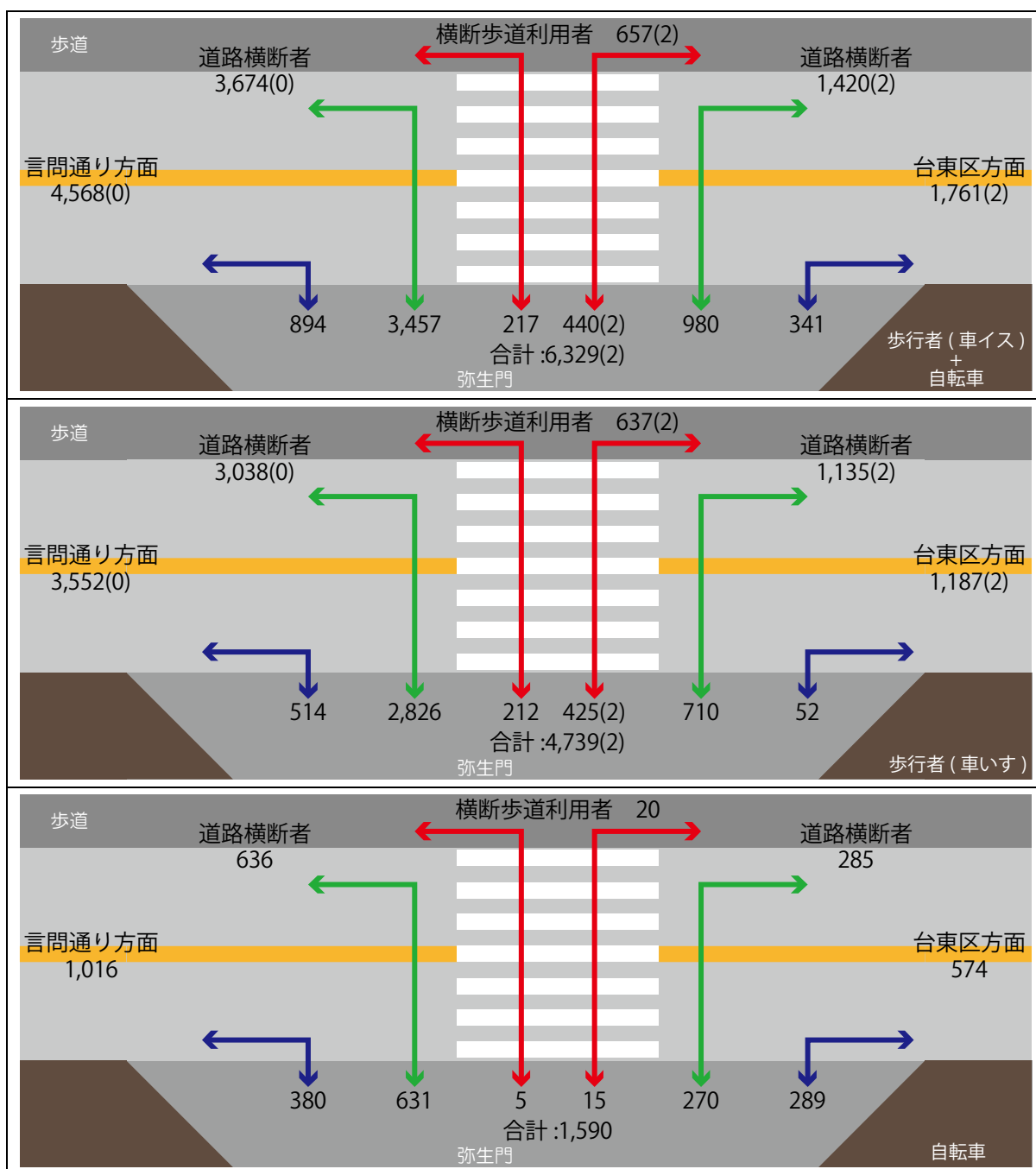
## 4-2. 調査結果

### (1) 横断歩行者数

弥生門通過者は、合計 6,331 人台/12h であり、内訳は歩行者 4,739 人/12h(74.9%)・自転車 1,590 台/12h(25.1%)と歩行者通過者の割合が高く、車いすは 2 台/12h と少なかった。

弥生門通過者の 80.5%(5,096 人台/12h)が道路横断者であり、そのうちの 12.9%(659 人台/12h)が横断歩道利用者であった(横断歩道利用者は弥生門通過者の 10.4%)。

方向別にみると、言問通り方面からが 72.2%と多く、道路横断者も同じ傾向にある。ただし、横断歩道利用者に着目すると、その方向は逆となり台東区方面からが 67.1%と多くなる。



## (2) 考 察

- 道路横断者 5,096 人台/12h ということは、約 7.1 人台/分が道路を横断していることになる(観測結果最大 : 136 人台/10 分(12:30~40))。
- 昨年度実施した交通量調査(H25. 10. 29(火)7:00~19:00・言問通りとの交差点で観測した暗闇坂に流入・流出する交通量)は、自動車交通量 2,082 台/12h・歩行者 640 人/12h・自転車 358 台/12h であり、歩行者類交通量(998 人台/12h)は本調査結果の 15.8%となっている。  
なお、本調査は、東大弥生門通過者を観測(暗闇坂通過利用のみ(東大弥生門非通過)は非観測)したもので、道路横断者は、区道 569 号及び区道 571 号を利用し、東大施設を往来する東大関係者であると断定できる。
- 横断歩道利用者の流動方向は台東区側が多く、全道路横断者の方向と異なる理由については、横断歩道が弥生門より台東区側にあること、さらに自動車交通量は道路横断者の 40.9%(弥生門通過者の 32.9%)と少なく、歩道幅員も約 1.5m と道路横断利用者が滞留するのに十分な幅員とは言えないことから、早く道路を横断し目的地に向かうという歩行者心理が働くためであると推測できる。
- なお、信号機設置は交通管理者の判断であり、その決定材料として、道路横断歩行者数が必要とされるため、本交通量調査結果は、信号機設置判断の基礎資料として交通管理者に提供する。

